

令和元年度

香 芝 市 議 会
行政視察研修報告書



総務企画委員会及び建設水道委員会

I 概要

香芝市議会 総務企画委員会及び建設水道委員会 視察研修（令和元年度）

1. 研修日 令和元年10月28日（月）～10月29日（火）

2. 出席者 ・総務企画委員会

（委員長）北川 重信 （副委員長）筒井 寛

（委員）中川 廣美 中村 良路 森井 常夫

上田井 良二

・建設水道委員会

（委員長）芦高 清友 （副委員長）中山 武彦

（委員）関 義秀 福岡 憲宏 鈴木 篤志

・理事者 （企画部長）堀本 武史 （都市創造部長）奥田 芳久

・随行者 （議会事務局長）奥山 善弘 （主事）米田 昌義

以上15名

3. 視察地

○岐阜県大野町

岐阜県揖斐郡大野町下磯313-2

人口 22,945人（令和元年9月1日現在）

面積 34.20km²

○長野県長野市

長野県長野市松代町西条479-11

人口 376,262人（令和元年9月1日）

面積 834.81km²

4. 視察事項

○大野町・・・道の駅「パレットピアおおの」について

○長野市・・・松代象山地下壕について

Ⅱ 研修内容のまとめ

〔大野町の概要〕

大野町は、岐阜県の西部、濃尾平野の西北端にあって、北は野村山等のさらに揖斐川連山を背にし、東は根尾川を境に本巣市、西は揖斐川町を境に、池田町、神戸町と接した平坦地である。また、歴史的な文化遺産や天然記念物も豊富で、花盛りの頃花芯に次のつぼみが現れ、外側の花びらがしぼむ頃花芯のつぼみが開花して二段に咲くという「揖斐二度ザクラ」（大正12年国天然記念物指定）や、前方後円墳や円墳等10基以上が密集する「野古墳群」（昭和32年国史跡指定）など、歴史のロマンを感じる多くの遺産がある。



大野町ひろせ副議長より歓迎の挨拶

道の駅「パレットピアおおの」施設概要

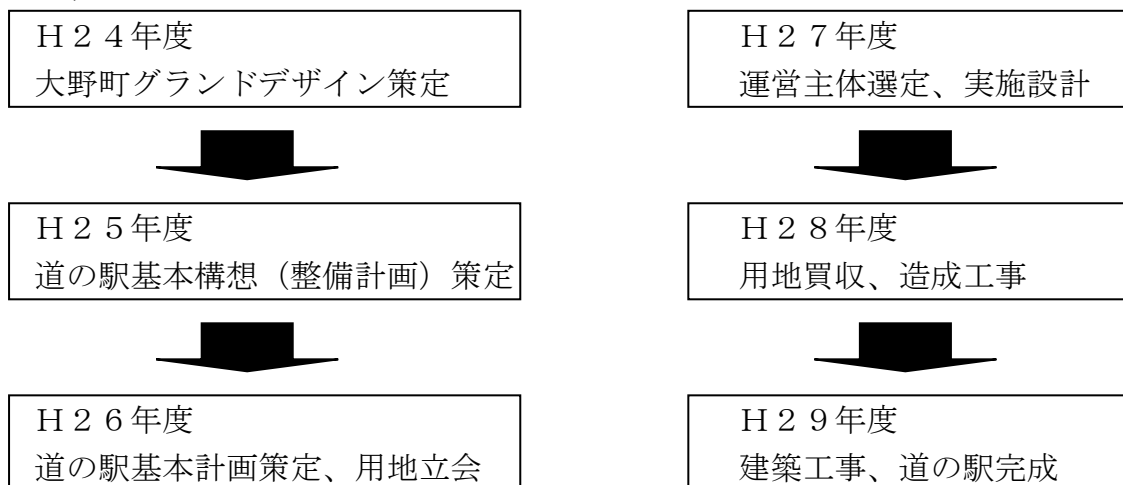
敷地面積		27,130㎡
建築面積	地域振興施設（鉄骨平屋建）	1,900㎡
	トイレ・情報館（木造平屋建）	260㎡
	子育て支援施設（木造平屋建）	360㎡
駐車台数	253台（小型車235台 大型車10台 身障者用等8台）	
トイレ（屋外・地域振興施設内・子育て支援施設内）		

主な工事費

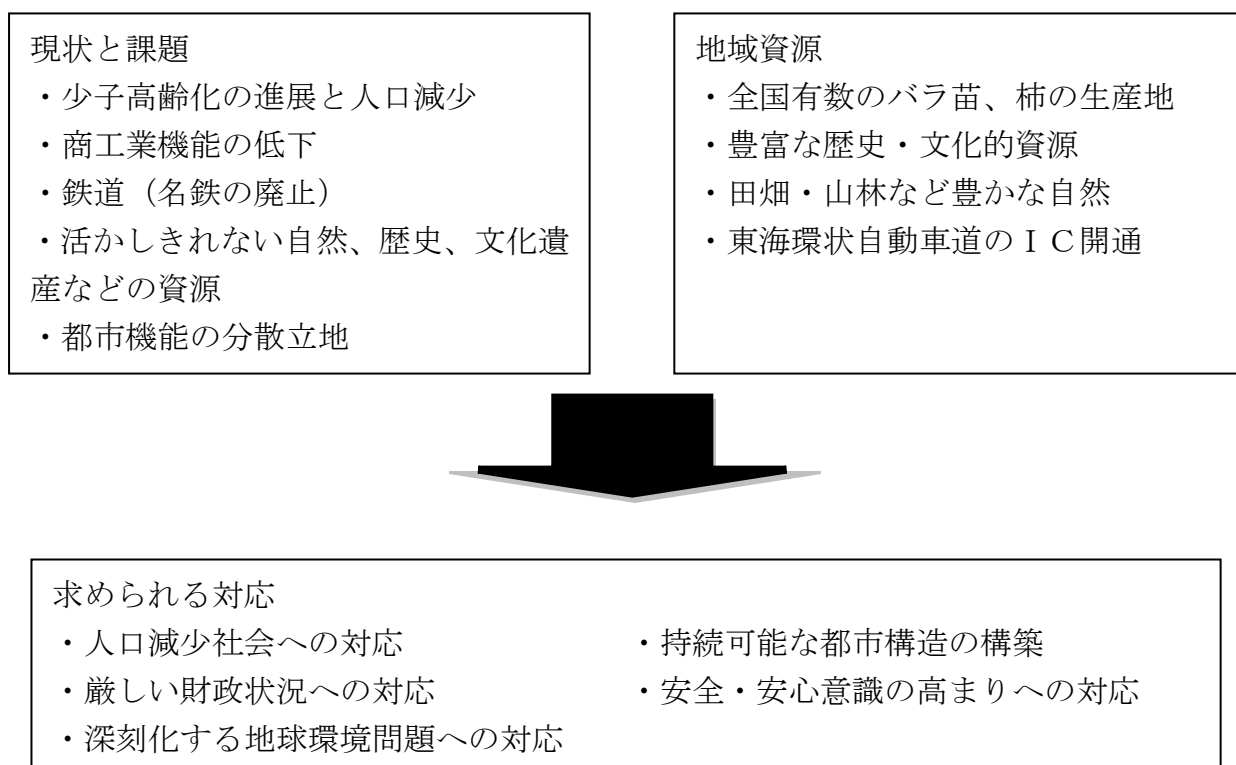
造成工事（駐車場含む）		385,590千円
本体工事	地域振興施設	508,140千円
	トイレ・情報館	6,000千円
	子育て支援施設	109,891千円
	リングほか	175,824千円
その他工事	植栽	36,301千円
	飲料水兼用耐震性貯水槽設置	42,704千円

道の駅整備までの経緯

スケジュール



大野町グランドデザインの策定



道の駅の防災機能

○岐阜県広域防災拠点

岐阜県広域防災拠点として、衛隊等の広域支援活動を想定した防災拠点とし岐阜県と協定を締結。また、指定管理者と災害発生時及び広域防災拠点として使用する際の協力協定を締結。

○指定緊急避難場所

災害時の指定緊急避難場所として地域住民及び帰宅困難者等に対応。

○防災設備

防災倉庫・・・1棟、飲料水兼用耐震性貯水槽40m³級・・・1基
マンホールトイレ・・・4個、防火井戸・・・1か所、岐阜県防災無線

道の駅を核として地域振興の取り組み

- 農業振興・・・就農者支援・出荷者確保のため、農産物出荷者説明会の開催や農業塾を開催。
- 産業振興・・・特産品の開発支援（大野の太鼓判）、高校生との連携による商品開発。
- 観光振興・・・町の魅力をPRする観光動画の作成、住民主導型のイベント・まちづくりの検討。
- 広域連携・・・観光窓口を設置し近隣市町を含めた広域的な観光情報の発信、西美濃夢現回廊協議会などとの連携強化。
- 公共交通・・・バスターミナル、バス路線の新設、近隣市町との地域公共交通などとの連携強化。
- 子育て支援・・・子育てはうす「ばすてる」にて、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談、支援

【所 感】

岐阜県大野町の道の駅「パレットピアおおの」及び長野県長野市の松代象山地下壕の視察を行った。

大野町では施設管理者の方から詳細な説明を受け、併設されている子育て支援施設や地場産の野菜などを取り扱うレストランなどを案内していただいた。

子育て支援施設では建物内が木材を基本として建設されており、木の温かさを感じるとともに子供たちにやさしい施設となっていた。また、芝生大きな芝生広場もあり小さな子供たちが遊んでいる姿が見受けられた。芝生広場は、芝生を植える前に宝探しゲームなどの催しものや、芝生を植える際も地域住民が参加するなどの工夫が凝らされていた。

長野市では視察直前に台風による甚大な被害があった影響で詳細の説明を聞くことはできなかったが、地下壕の現地視察を行うことができた。

地下壕は観光地として整備されており我々のはかにも数組見学されている団体があった。地下壕の中は証明が設置されているが足元が暗く少し歩きにくさを感じた。本

市ではどんづる峯にも同じような地下壕があり、将来的に整備をする時の課題を発見することができた。

今回の視察研修での研修成果を十分に活かすことができるように委員一同、議員活動に取り組んでまいりたい。

報告者 総務企画委員会委員長 北川重信
建設水道委員会委員長 芦高清友